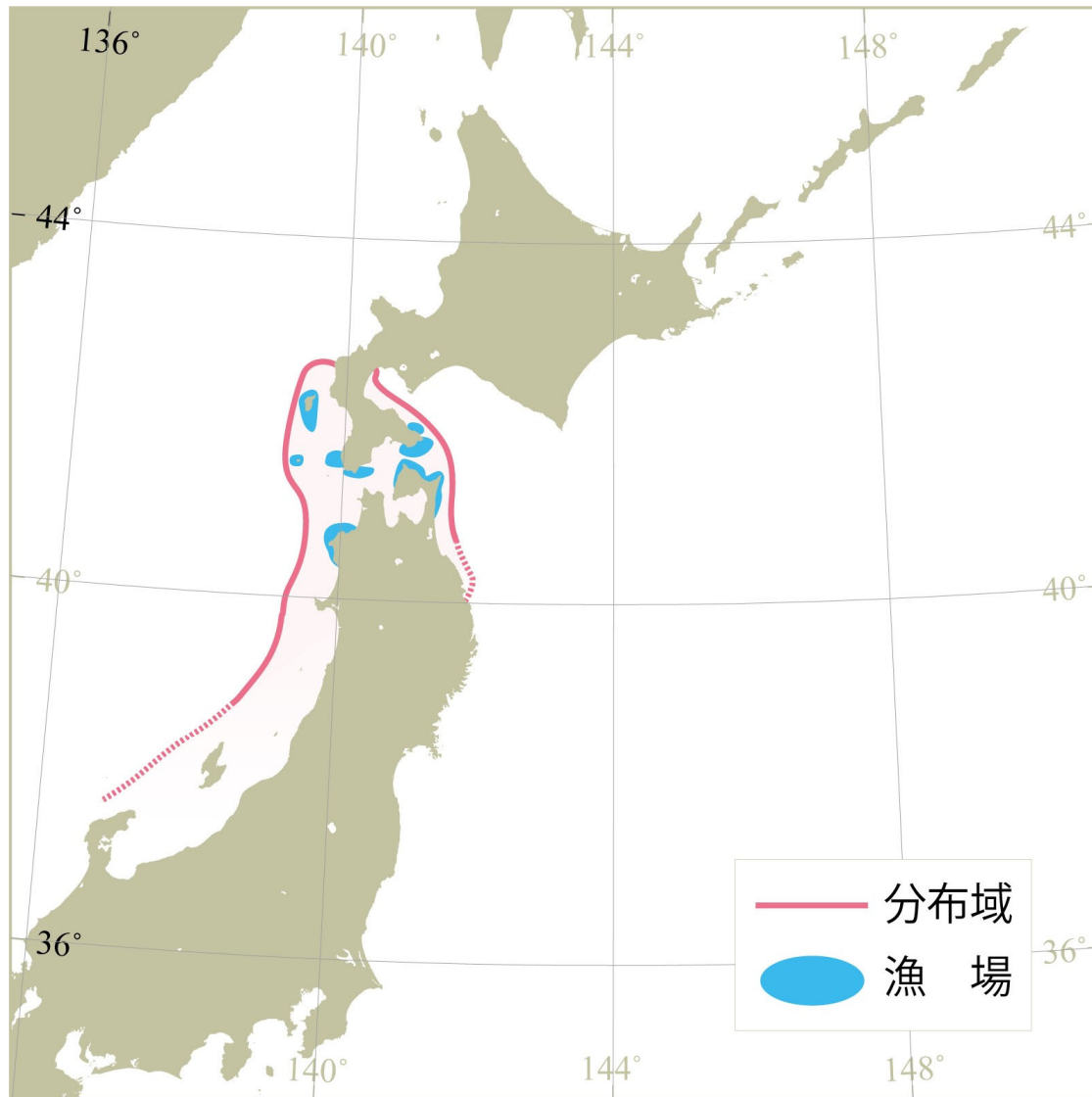




ホッケ道南系群 令和6年度資源評価結果

生物学的特性

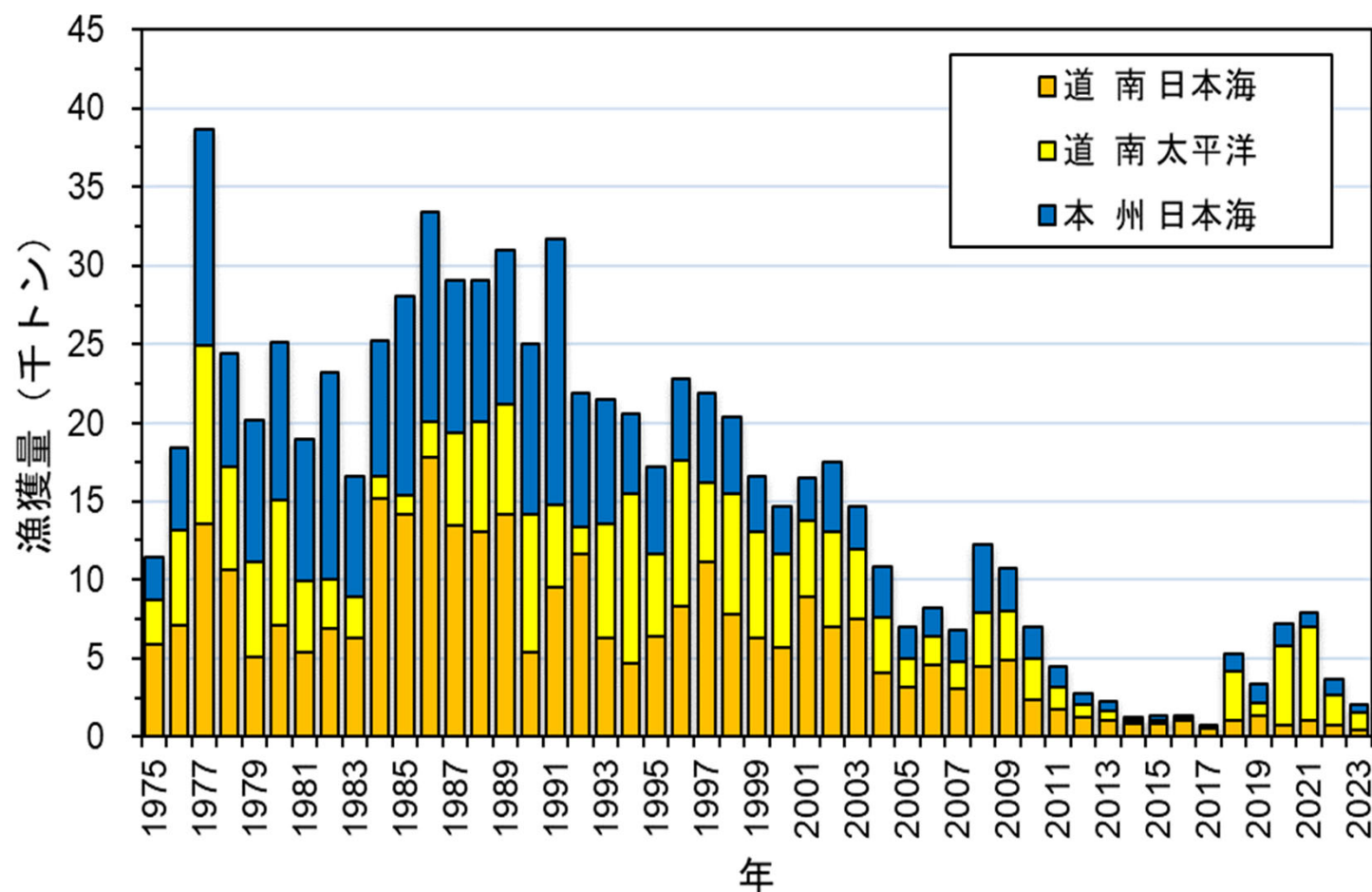


生物学的特性

- 寿命：
不明（他の系群では8歳以上）
- 成熟開始年齢：
1歳（一部）、2歳（約100%）
- 産卵期・産卵場：
11～12月、北海道渡島半島西岸、
奥尻島沿岸、恵山周辺の岩礁域
- 食性：仔魚期には主にカイアシ
類、未成魚期にはヨコエビ類、
岩礁周辺で定着生活に移行後は
魚類、魚卵、イカ類、エビ類、
ヨコエビ類、オキアミ類など
- 捕食者：不明

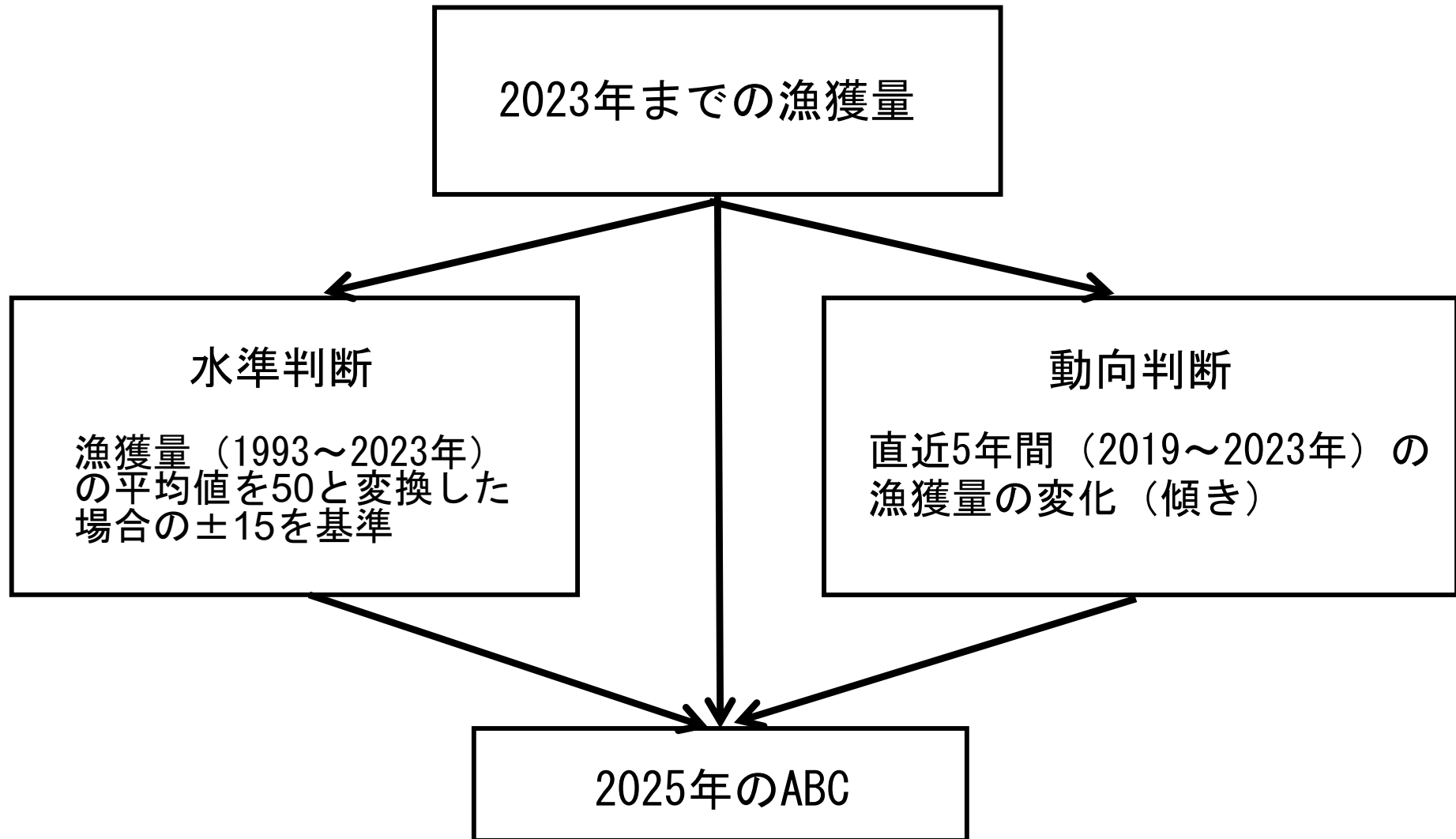
- ほぼ周年漁獲されるが、特に春季の索餌期と秋季の産卵期に漁獲量が多い

漁獲の動向



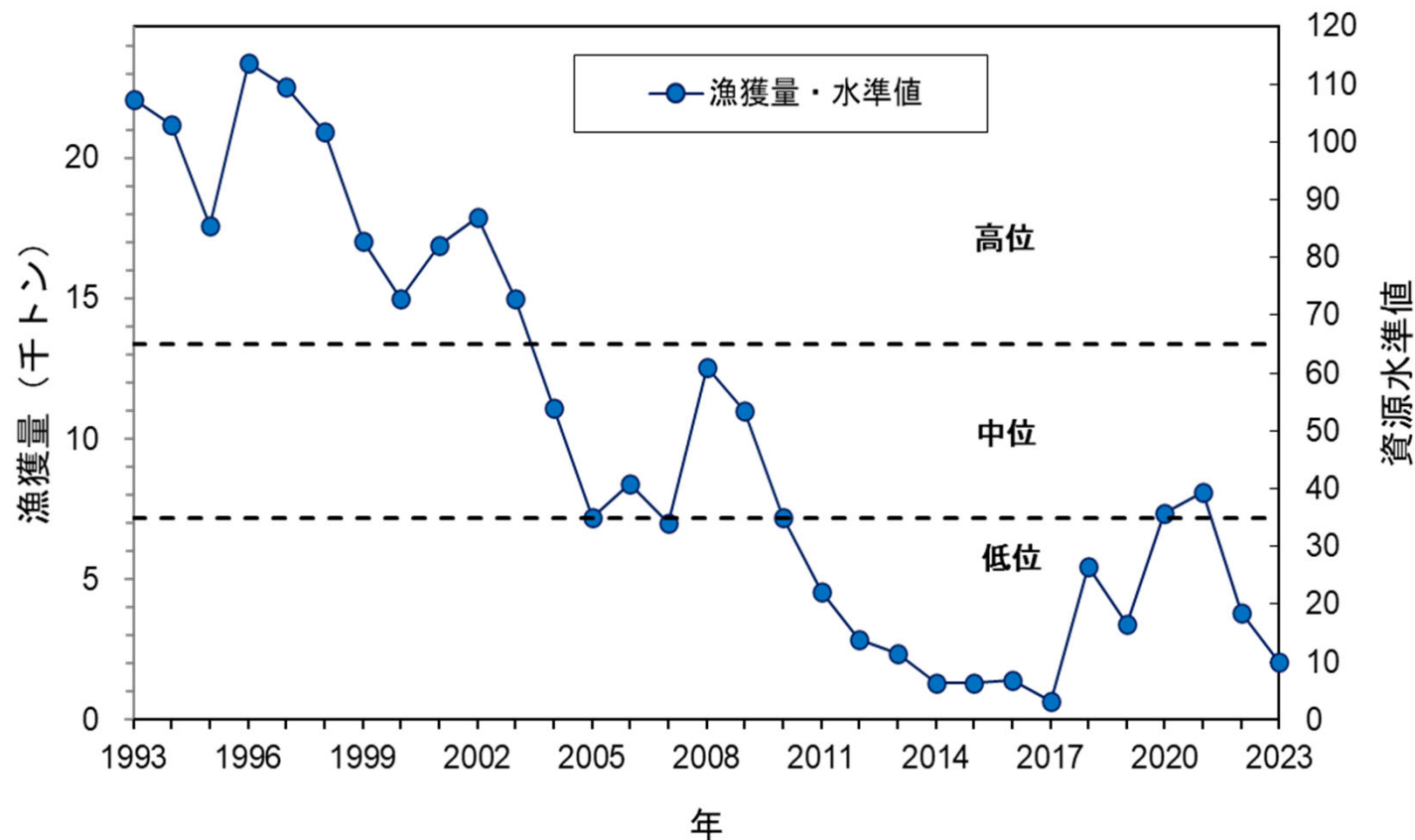
- 2023年の漁獲量：2,032トン（2022年：3,710トン）
- 2023年は道南太平洋、道南日本海、本州日本海のいずれも減少してそれぞれ1,134トン、426トン、472トン
- 沿岸漁業（定置網・底建網、刺網）が主体

資源評価の流れ



※ABCは漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65
(1993年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量を資源水準値として算出)

- 資源水準：2023年の漁獲量は2,032トンで、資源水準値は10であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2019～2023年）の漁獲量の推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「低位」、動向は「横ばい」
- 漁獲努力量が比較的安定したと考えられる1993年以降の漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2025年ABC

管理基準	Target/ Limit	2025年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.7・Cave3-yr・0.68	Target	1,730	-	-
	Limit	2,160	-	-

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則2-2) より
 $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- δ_2 : 0.7 (資源水準が低位である場合の標準値)
- Ct : Cave3-yr (直近3年間 (2021~2023年) の平均漁獲量)
- γ_2 : 0.68 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均から求まる係数)